

人権旬間 互いのことを大切にしよう

6月29日から7月10日まで、龍野小学校の人権旬間です。人権とは、「一人一人が人間として生きていく権利」のことです。その権利には、生存権、教育権、言語の自由などたくさんあります。では、自分勝手に何でもしていいのでしょうか。いじめや差別がなく、自分を大切にするとともに、周りの人も大切にすること、お互いに認め合える龍野小学校にしていきたいと思えます。本年度は、「自尊感情」と「他者創造」を人権教育の柱に取り組んでいます。

人権旬間のスタートは、ズームによる校長の人権講話を行いました。

(人権講話概要)

龍野小学校の4つの合い言葉は、「笑顔」「元気」「感謝」「安全」です。先生たちは、皆さんが「笑顔」で「元気」に、「ありがとう」の言葉が響く学校、そして、「安全」に過ごしてほしいと願っています。この詩を聞いてどんなことを考えますか。

こだまでしょうか 金子みすゞ

「あそぼう」っていうと 「あそぼう」っていう。
「ばか」っていうと 「ばか」っていう。
「もうあそばない」っていうと 「あそばない」っていう。
そうして、あとでさみしくなって、
「ごめんね」っていうと 「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、いいえ、だれでも。

「あそぼう」「ごめんね」は、皆さんが笑顔になりますね。でも、「ばか」や「もう遊ばない」の言葉はどうでしょうか。言葉には、「笑顔」になれる言葉と「笑顔」になれない言葉があります。

また、言葉はこだまする。「あたたかい言葉」を使うと「あたたかい言葉」がかえってくる。「傷つく言葉」には、「傷つく言葉」がかえってくる。これは、心も同じで「優しい心」には「優しい心」がかえってくると思います。

今週から人権旬間が始まります。龍野小学校の皆さんが「笑顔」と「元気」に過ごせるように、「あたたかい言葉」「優しい心」いっぱい龍野小学校をつくっていきましょう。各担任の先生と一緒に「言葉」や「友だち」のことを考えていきましょう。

本校では、この人権旬間中に各学級での人権学習、心のアンケート、一人一人の子どもとの教育相談を実施していきます。学習の様子など、学級通信や学校便りで紹介していきます。

5年生!田植えに挑戦～池田さん、JA青壮年部のみなさん、お世話になりました。

2日(木)5年生が総合的な学習の時間に田植えを実施しました。田んぼに入るときの様子を見てみると、はじめは不安そうな子どももいましたが、とても立派な態度で田植えに取り組んでいました。何度も田植え学習に参加していたのですが、遊ぶ児童もなく、説明をしっかりと聞きながら活動することができました。お世話いただいた池田さんから「とても一生懸命植えてくれました。植えた跡の苗がとてもきれいでした。それは、しっかりと話を聞いて植えてくれたおかげですね。5年生はとても頑張っていました。」と、ほめていただきました。



田植えに挑戦する5年生

学校に帰ってから、「池田さんやJA青壮年部の方のおかげで田植えができた。」「ありがとうと言いたい。」など、感謝の心にも目を向けていました。池田さん、JA青壮年部の皆さん大変お世話になりました。ありがとうございました。態度も立派だった5年生。貴重な体験ができました。